

2024 年の九州・山口県の天候の経過

- 1 月以降、秋にかけて気温の高い状態が続き、九州北部地方（山口県を含む）、九州南部、奄美地方の年平均気温はかなり高く、全ての地域で年平均気温の高温の 1 位を更新した。
- 夏と秋の平均気温は、九州北部地方、九州南部、奄美地方の全ての地域で高温の 1 位を更新した。

1 2024 年の天候の特徴

1 月以降、秋にかけて気温の高い状況が続き、九州北部地方、九州南部、奄美地方の年の平均気温はかなり高く、1946 年の統計開始以降、高温の 1 位を更新した。年間の降水量は全域で多く、奄美地方ではかなり多かった。年間の日照時間は全域で多かった。

2024 年の季節別の平均気温・降水量・日照時間の地域平均平年差（比）の値を表 1 から表 3 に示す。なお、平均気温・降水量・日照時間の階級の色表現を表 4 に示す。また、九州北部地方、九州南部、奄美地方の平均気温・降水量・日照時間の地域平均平年差（比）の 2023 年 12 月から 2024 年の時系列図を図 1 から図 3 に示す。

2 季節毎の概況

冬（2023 年 12 月～2 月）・・・九州北部地方、九州南部、奄美地方でかなりの高温。九州南部と奄美地方の冬の平均気温は 1 位（タイ）。奄美地方でかなりの多照。

冬型の気圧配置が長続きせず、2 月を中心に南から暖かい空気が流れ込んだ時期があったため、平均気温は全域でかなり高く、九州南部と奄美地方では 1946 年の統計開始以降、1 位タイの高温となった。

九州北部地方と九州南部では、2 月を中心に低気圧や前線の影響を受けやすく、降水量は多かった。奄美地方では、寒気の流れ込みが弱かったことに加えて、低気圧や前線の影響を受けにくかったため、日照時間はかなり多かった。

春（3 月～5 月）・・・九州北部地方、九州南部、奄美地方でかなりの高温。九州北部地方と九州南部でかなりの多雨。

暖かい空気に覆われやすかったため、平均気温は全域でかなりの高く、九州南部と奄美地方では 1946 年の統計開始以降、2 位の高温となった。

低気圧や前線の影響を受けやすかったため、九州北部地方と九州南部では、降水量はかなり多かった。

夏（6 月～8 月）・・・九州北部地方、九州南部、奄美地方でかなりの高温で夏の平均気温の 1 位更新。九州北部地方と九州南部はかなりの多照。

夏を通じて暖かい空気に覆われやすかった。また、7～8 月は西日本を中心に背の高い高気圧に覆われやすく、晴れて強い日射の影響を受けた。このため、夏の平均気温は全域でかなり高く、九州北部地方、九州南部、奄美地方では 1946 年の統計開始以降、1 位

の高温となった。また、九州北部地方と九州南部では日照時間もかなり多かった。

九州南部では、6～7月の梅雨前線と8月の台風第10号などの影響を受け、降水量は多かった。

秋（9月～11月） ・ ・ ・九州北部地方、九州南部、奄美地方でかなりの高温で秋の平均気温の1位更新。奄美地方はかなりの多雨・寡照。

秋を通して偏西風が北へ蛇行し、暖かい空気に覆われやすかったため、秋の平均気温は全域でかなり高く、九州北部地方、九州南部、奄美地方では1946年の統計開始以降、1位の高温となった。

奄美地方では、台風の接近が多く湿った空気の影響を受けやすかったため、降水量はかなり多く、日照時間はかなり少なかった。

12月 ・ ・ ・九州北部地方、九州南部、奄美地方でかなりの少雨。

西高東低の冬型の気圧配置が続きやすかったため、平均気温は九州南部と奄美地方で低かった。

低気圧の影響を受けにくかったため、九州北部地方、九州南部、奄美地方の降水量はかなり少なく、日照時間は多かった。

表1 2024年の季節別の平均気温の地域平均平年差

平均気温平年差 (°C)	九州北部地方		九州南部		奄美地方	
冬 2023年12月～2月	+1.6	かなり高い	+1.7	かなり高い	+1.3	かなり高い
春 3月～5月	+1.2	かなり高い	+1.1	かなり高い	+1.2	かなり高い
夏 6月～8月	+1.4	かなり高い	+1.2	かなり高い	+0.9	かなり高い
秋 9月～11月	+2.7	かなり高い	+2.3	かなり高い	+1.6	かなり高い
12月	-0.2	平年並	-0.7	低い	-0.6	低い
年間（2024年）	+1.6	かなり高い	+1.5	かなり高い	+1.1	かなり高い

表 2 2024 年の季節別の降水量の地域平均平年比

降水量平年比 (%)	九州北部地方		九州南部		奄美地方	
	値	傾向	値	傾向	値	傾向
冬 2023 年 12 月～2 月	133	多い	118	多い	94	平年並
春 3 月～5 月	138	かなり多い	142	かなり多い	130	多い
夏 6 月～8 月	107	平年並	116	多い	95	平年並
秋 9 月～11 月	128	多い	107	平年並	180	かなり多い
12 月	26	かなり少ない	18	かなり少ない	44	かなり少ない
年間 (2024 年)	118	多い	118	多い	123	かなり多い

表 3 2024 年の季節別の日照時間の地域平均平年比

日照時間平年比 (%)	九州北部地方		九州南部		奄美地方	
	値	傾向	値	傾向	値	傾向
冬 2023 年 12 月～2 月	95	平年並	101	平年並	126	かなり多い
春 3 月～5 月	96	少ない	91	少ない	98	平年並
夏 6 月～8 月	121	かなり多い	125	かなり多い	110	多い
秋 9 月～11 月	105	平年並	95	少ない	88	かなり少ない
12 月	113	多い	116	多い	109	多い
年間 (2024 年)	106	多い	104	多い	104	多い

表 4 平均気温・降水量・日照時間の階級の色表現

色	平均気温	降水量	日照時間
	かなり高い	かなり少ない	かなり多い
	高い	少ない	多い
	平年並	平年並	平年並
	低い	多い	少ない
	かなり低い	かなり多い	かなり少ない
太字は統計開始以降の記録を更新したものを示す			

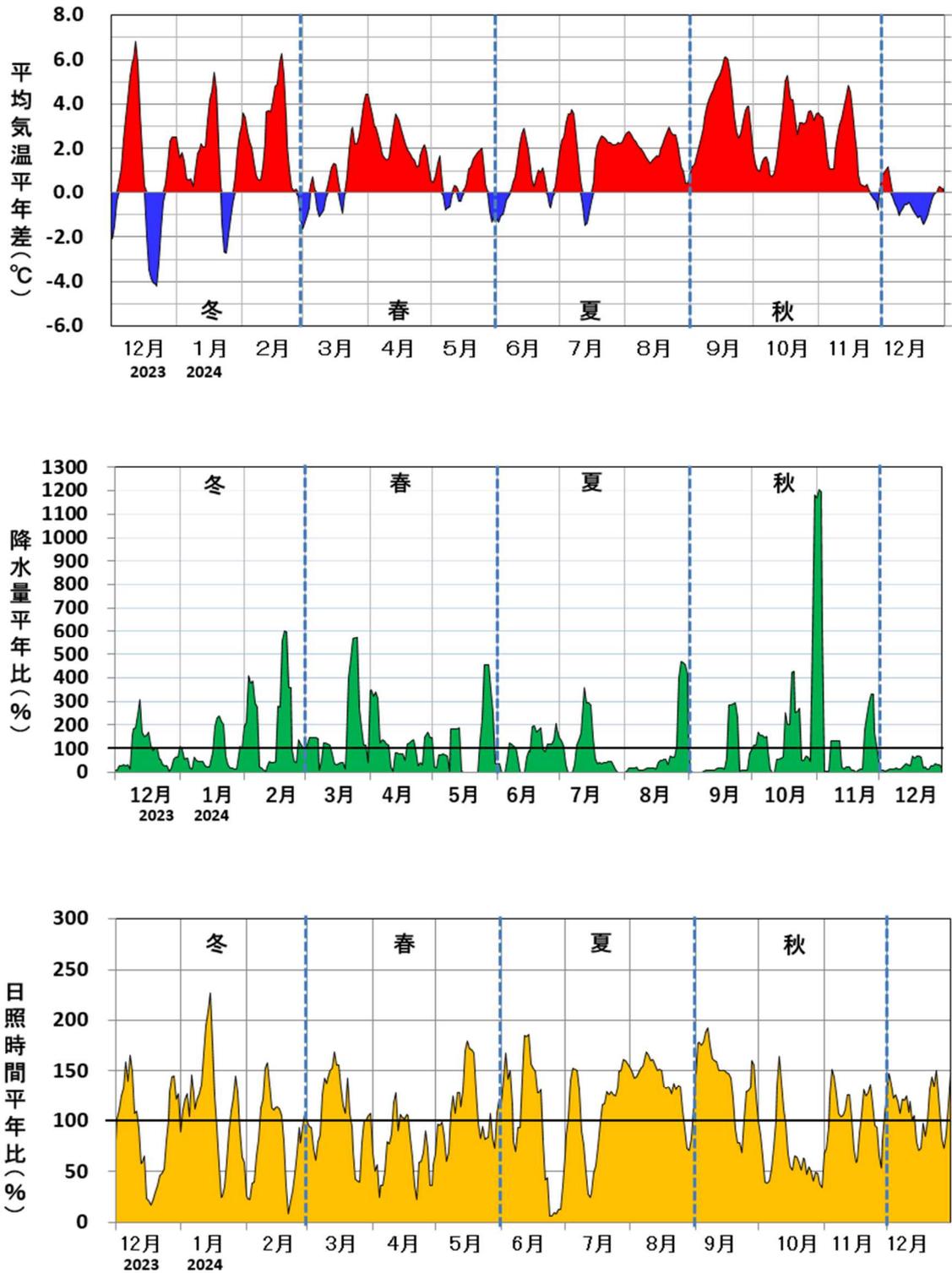


図1 九州北部地方の平均気温・降水量・日照時間の地域平均年間差（比）

グラフの値はいずれも5日移動平均値を示す。平均気温の赤色は平年を上回り青色は平年を下回る。降水量・日照時間は平年比100%より大きいと平年を上回り、100%より小さいと平年を下回る。

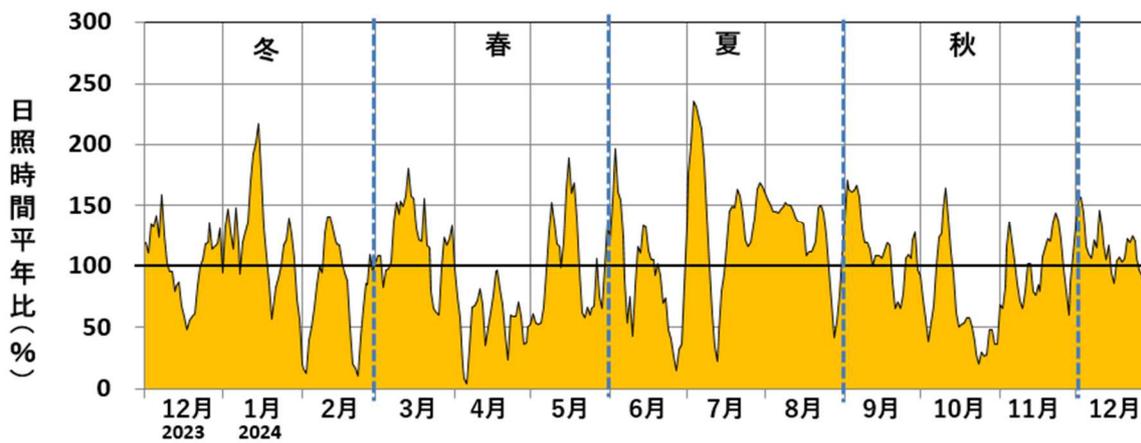
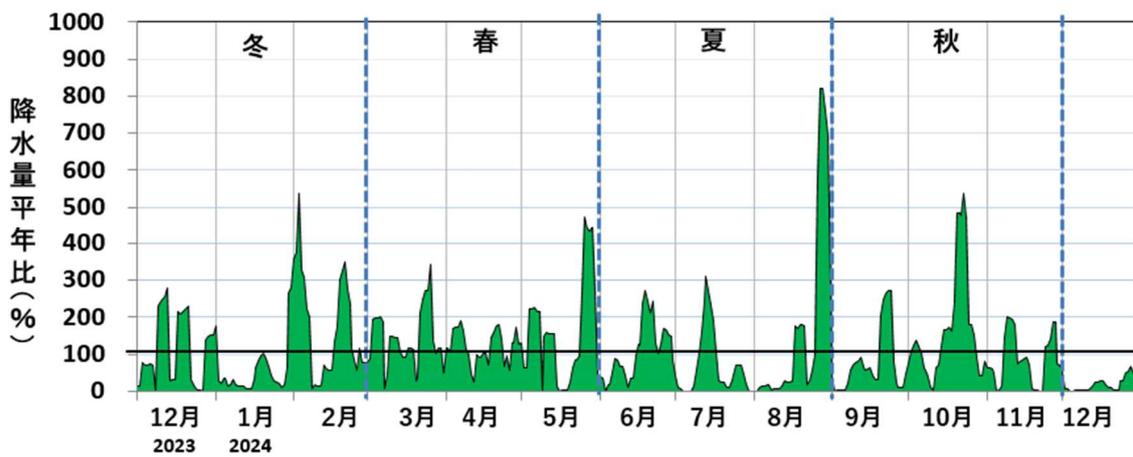
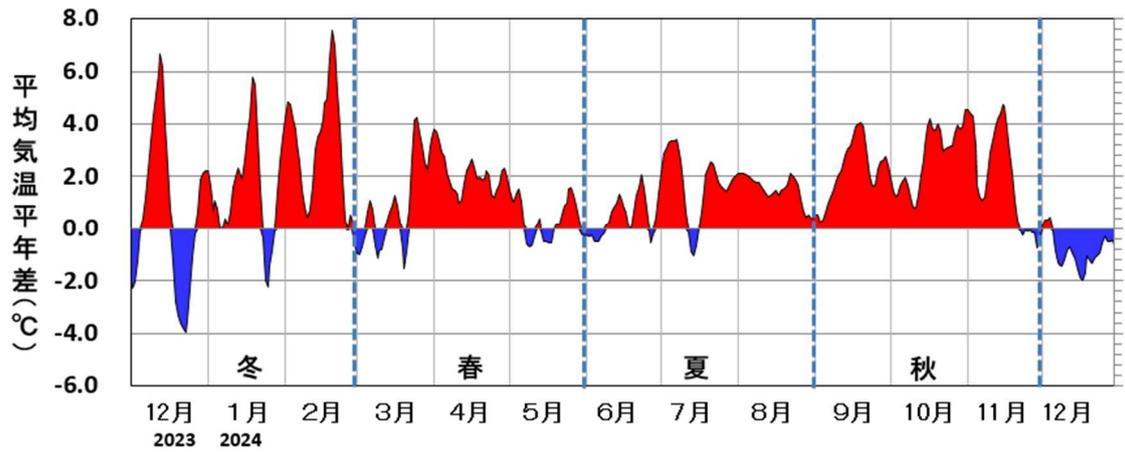


図2 九州南部の平均気温・降水量・日照時間の地域平均平年差（比）

グラフの値はいずれも5日移動平均値を示す。平均気温の赤色は平年を上回り青色は平年を下回る。降水量・日照時間は平年比100%より大きいと平年を上回り、100%より小さいと平年を下回る。

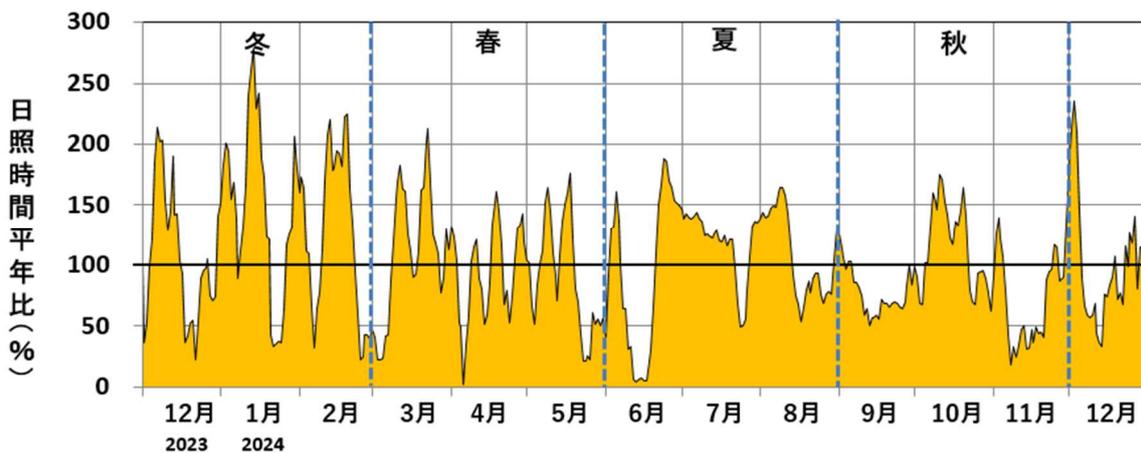
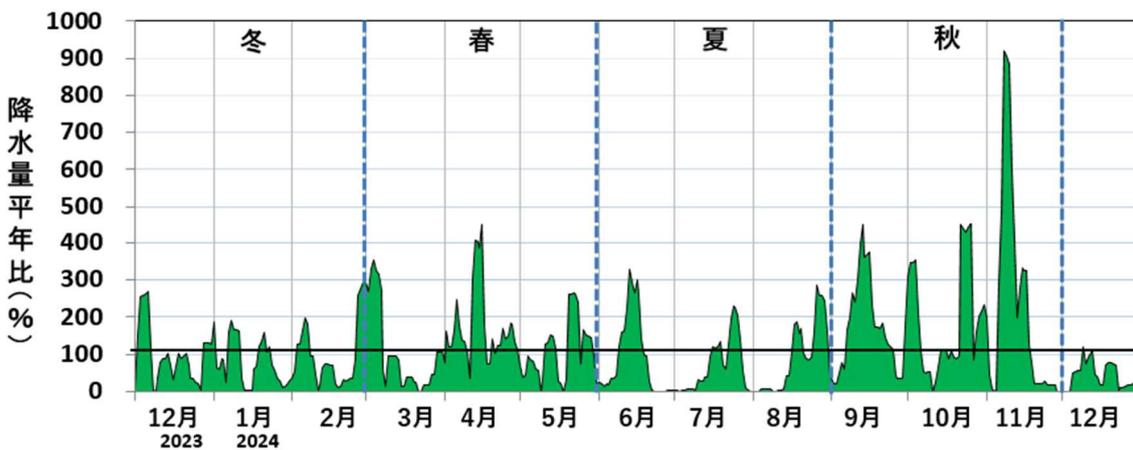
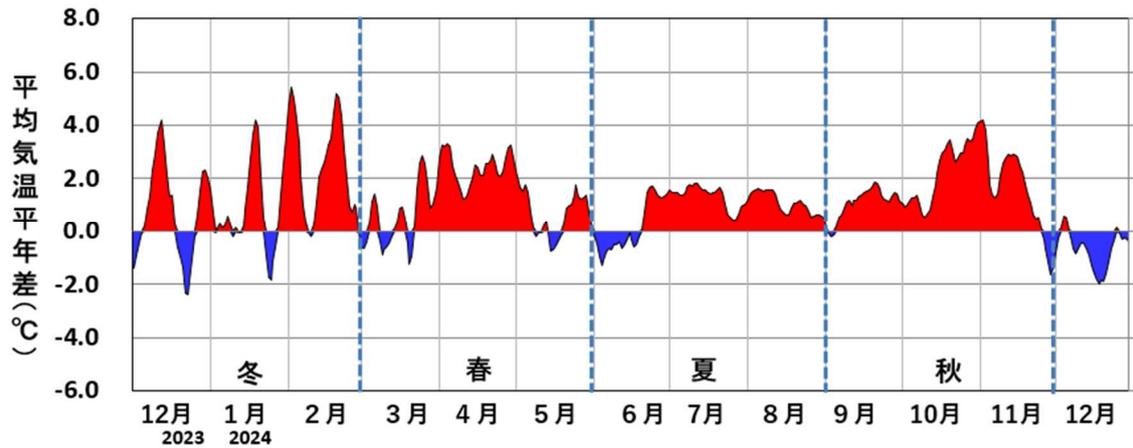


図3 奄美地方の平均気温・降水量・日照時間の地域平均平年差（比）

グラフの値はいずれも5日移動平均値を示す。平均気温の赤色は平年を上回り青色は平年を下回る。降水量・日照時間は平年比100%より大きいと平年を上回り、100%より小さいと平年を下回る。

3 2024 年の梅雨の特徴（表 5）

（梅雨入り）

奄美地方では、5月上旬から中旬は高気圧に覆われることが多かったが、5月下旬に入って東シナ海南部から日本の南海上の前線の影響を受けるようになった。このことから、平年より遅い5月21日ごろに梅雨入りした。

九州南部と九州北部地方では、5月は高気圧に覆われることが多かった。6月に入っても偏西風が大きく南に蛇行し、日本の南の太平洋高気圧が一時的に弱まった。このため、梅雨前線が大きく南に下がった状況となり、九州南部と九州北部地方の梅雨入りが遅れていた。東シナ海の低気圧や前線が6月8日に北上したことにより、九州南部では平年より遅い6月8日ごろに梅雨入りした。梅雨前線は6月中旬には九州の南海上に停滞したが、6月17日に再び北上したため、九州北部地方では平年よりかなり遅い6月17日ごろに梅雨入りした。

（梅雨明け）

奄美地方では、6月中旬に日降水量100mmを超える大雨となった所があった。6月下旬には前線は九州南部以北に北上し、奄美地方では平年よりかなり早い6月22日ごろ梅雨明けした。

九州南部と九州北部地方では、6月下旬から7月中旬にかけて前線が停滞することが多くなり、大雨となった所があった。7月中旬後半に太平洋高気圧が東・西日本太平洋側に張り出し、九州南部が7月16日ごろ、九州北部地方は7月17日ごろに梅雨明けした。

（梅雨の時期の降水量）

梅雨の時期の降水量は、九州北部地方と九州南部では平年並、奄美地方では多かった（表6）。

表 5 2024 年の梅雨入り・梅雨明け

地域	梅雨入り	平年	梅雨明け	平年
九州北部地方	6月17日ごろ (かなり遅い)	6月4日ごろ	7月17日ごろ (平年並)	7月19日ごろ
九州南部	6月8日ごろ (遅い)	5月30日ごろ	7月16日ごろ (平年並)	7月15日ごろ
奄美地方	5月21日ごろ (遅い)	5月12日ごろ	6月22日ごろ (かなり早い)	6月29日ごろ

カッコ内は平年の時期との比較。朱書は記録更新を示す。

なお、梅雨は季節現象であり、その入り明けには平均的に5日間程度の移り変わりの期間がある。

表 6 九州・山口県の主な地点における 2024 年梅雨の時期の降水量

	地点名	降水量 (mm)	平年比 (%)	平年値 (mm)
九州北部地方 (平年比 107% 平年並)	下 関	840.0	149	563.0
	福 岡	429.5	78	548.7
	佐 賀	657.0	95	693.8
	長 崎	694.0	110	628.6
	熊 本	730.0	87	835.3
	大 分	428.0	74	574.9
九州南部 (平年比 99% 平年並)	宮 崎	767.0	90	855.6
	鹿 児 島	1213.0	130	935.1
奄美地方 (平年比 112% 多い)	名 瀬	749.0	106	705.5

九州・山口県の 6～7 月（奄美地方では 5～6 月）合計降水量（平年値は 1991～2020 年の平均値）。なお、平年比は九州北部地方では、萩、山口、下関、福岡、飯塚、佐賀、長崎、厳原、平戸、佐世保、福江、雲仙岳、熊本、人吉、牛深、大分、平戸の 17 地点、九州南部では、宮崎、延岡、都城、油津、鹿児島、阿久根、枕崎、屋久島、種子島の 9 地点、奄美地方では、名瀬、沖永良部の 2 地点で算出。

4 2024 年の台風

台風の上陸は 1 個あり、台風第 10 号が鹿児島県薩摩川内市付近に上陸した。九州北部地方、九州南部、奄美地方への台風接近数は表 7 のとおりである。

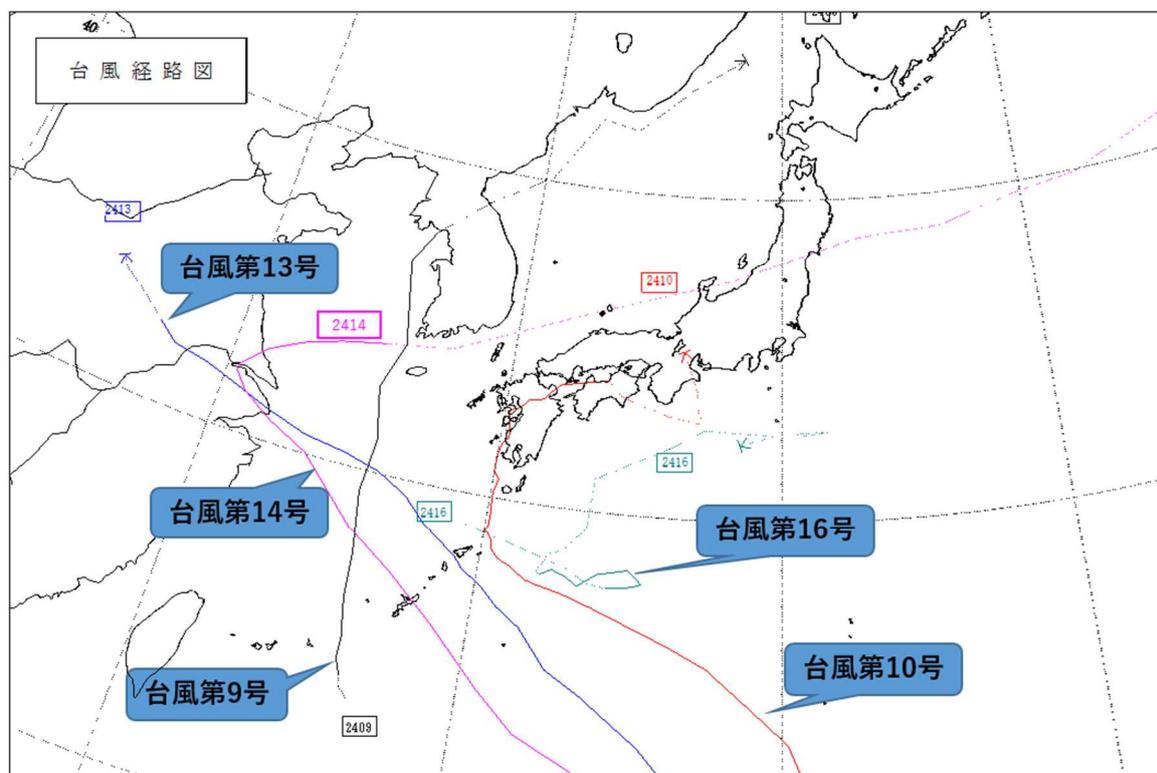


図 4 九州・山口県に接近・上陸した台風経路図

表7 九州・山口県への接近数

2024年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年
九州北部地方								2					2
平年値				0.0	0.1	0.3	0.8	1.1	1.1	0.4			3.8
九州南部								1	2				3
平年値				0.0	0.1	0.4	0.7	1.0	1.2	0.5			3.9
奄美地方								2	3				5
平年値				0.0	0.2	0.4	0.7	1.1	1.3	0.7			4.3

※接近は2か月にまたがる場合があり、各月の接近数の合計と年間の接近数とは必ずしも一致しません。